



防災教育の充実で 子どもの命を守る施策を



自民・新政 風間 正子

一 防災教育について

問 自分の命を自分で守り、家族や地域住民と共に助け合える子どもを育てる防災教育が重要だが、本市の取り組みはどのようなか。

答 未だ小学校における研究では、カードゲームを活用した遊びを通して災害や日常の危険から身を守る方法を学ぶ中で、安全・安心への意識を高める教育を行っている。さらに、より良い避難訓練の在り方も研究し、その成果を各校に広



児童・生徒の命を守る防災ヘルメットの導入を

要望 いっ起こるから分らない災害において、避難中の落下物から子どもの命を守るため、防災ヘルメットの導入を検討してほしい。

二 地域に開かれた学校施設のあり方について

要望 西中学校体育館と西公民館の複合施設は、地域防災機能も備えた地域拠点施設である。児童・生徒の安全を第一に考えながら、地域と学校の交流機会の拡大について引き続き検討してほしい。

三 地球温暖化に対する取り組みについて

問 令和2年6月定例会で市に地球温暖化対策の姿勢を表明する気候非常事態宣言を求める陳情を採択したが、本市の対応はどうか。

答 新総合計画に掲げる新たな都市像は「水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしよい都市」である。この都市像を実現し、豊かな自然を次世代に継承するため、宣言の内容や時期について検討したい。



なでしこ運動広場と 雨水調整池の有効活用を



自民・新政 高橋 文雄

一 なでしこ運動広場の整備について

問 下水道終末処理場用地として取得したものであるが、計画が変更となっている。今後の土地利用計画はどのようなか。

答 秦野市公共下水道全体計画見直し案では高度処理施設のみを配置する計画としているが、下水処理から発生する資源の有効活用の一環として、令和12年度までの10年間で配置計画を検証したい。年間約4万人の利用があるため、当面は、スポーツ広場として、適切な環境整備に努めたい。



利用者のために継続的な環境整備を(写真は、なでしこ運動広場)

二 雨水調整池の多目的利用について

問 設置当時の南が丘調整池は、



コロナ不況の中 大企業への水道管路 一括発注でなく市内業者に発注せよ



日本共産党 露木 順三

一 名水はだの富士見の湯高温水漏れ等の設備不具合について

問 開業から1年も経ないうちに蒸気が発生し、ようやく高温水漏れが判明した。この間の調査などにかかった費用はどうか。

答 配管の状況調査や工事に対し、約1470万円を要している。

問 本市は高温水配管の実施設設計で二重管から漏水の起きたステンレス管の変更を承認している。この管の使用は全国で1カ所のみで、検証されていないがどうか。

答 実績の検討が不足していた。

二 都市整備と防災について

問 戸川土地地区画整理事業に係る矢坪沢保安林指定解除と伐採につ

いて、日本共産党県議会議員団と

設計・工事監理に生かしたい。

二 水道管路の一括発注について

問 一括発注は大手ゼネコンがま

ず受注することとなる。市長に対

し、管工事業協同組合と建設業協

会からコロナ不況への対策として

ゼネコンへの一括発注でなく市内

業者への工事量の平準化などの要

望書が提出されたが、どうか。

答 一括発注でなくとも可能な事

業を見直し、早急に平準化を図る

三 都市整備と防災について

問 戸川土地地区画整理事業に係る

矢坪沢保安林指定解除と伐採につ

いて、日本共産党県議会議員団と

設計・工事監理に生かしたい。

二 水道管路の一括発注について

問 一括発注は大手ゼネコンがま

ず受注することとなる。市長に対

し、管工事業協同組合と建設業協

会からコロナ不況への対策として

ゼネコンへの一括発注でなく市内

業者への工事量の平準化などの要

望書が提出されたが、どうか。

答 一括発注でなくとも可能な事

業を見直し、早急に平準化を図る

三 都市整備と防災について

問 戸川土地地区画整理事業に係る

矢坪沢保安林指定解除と伐採につ

いて、日本共産党県議会議員団と

設計・工事監理に生かしたい。

二 水道管路の一括発注について

問 一括発注は大手ゼネコンがま

ず受注することとなる。市長に対



利用が進むWiFiと 209ヘクタール分の農地の効果的な活用を



創和会 原 聡

一 公共施設の無料WiFiについて

問 災害が発生した際の、接続方法と利用条件はどうか。

答 市の依頼または回線事業者の判断でパスワードなどの認証なしで接続可能だが、負荷を避けるため1回30分の上限がある。

二 ウェブ会議の需要の増加や防災の観点から、拡充してはどうか

問 池の状態で、多くの水鳥が飛来し、教材としても活用されてきたが、現状は土が堆積している。復元についてのは考えはどうか。

答 土砂の撤去には多額の費用がかかる。優れた水辺環境となることは理解するが、費用対効果を考え、適切な管理に努めていきたい。

立野台南調整池は立野緑地スポーツ広場に隣接し、駐車場として使用されているが、現状に対して本市の考えはどうか。

答 事前の申し込みを受けて開放しており、利用状況を見ても特段の支障は生じていないと考える。



地域活性化のため 歴史的資源を活用した整備促進を



創和会 横溝 泰世

一 郷土資料館の建設と地域活性化に向けて

問 桜土手古墳展示館がはだの歴史博物館にリニューアルし、令和元年に比べ来館者が増加した。東地区の地域活性化につながる実朝公御首塚周辺整備とあわせ、波多野城址の復元と東田原中丸遺跡の出土品・民具などを展示する郷土資料館の建設に向け、東田原中丸遺跡整備活用構想に沿った計画として、具体的に進めるべきだが、どうか。

要望 我がまち秦野の郷土について、自らが歴史を知り保存とともに守り、後世に伝えていくことは私たちの責務である。また、市民は歴史や文化財を知り学ぶことで郷土愛が育まれ、愛着とともに秦野に住んでいることに誇りを持つことができる。特に東地区は自然が豊かで文化財の宝庫で、文化財や歴史的資源は新たな人を呼び、地域活性化にもつながる。その貴重な財産を活用するため、中丸広場周辺の整備計画を積極的に図りたい。

答 高収益化モデルの構築により、若い世代に選ばれる職業になると考える。基盤整備には投資が必要となるため、施設化推進は今後、関係機関と連携し研究していく。

要望 積極的に親元就農の支援をするとともに、研修時から就農後まで切れ目のない支援をしてほしい。

二 「農」の担い手育成支援について

問 後継者のいない農家の割合と、今後10年で貸し出しを希望する農地はどのくらいあるか。

答 後継者がいない割合は45%、貸し出し希望は209ヘクタール。

問 若い農業者に施設栽培への転換を促し、経営の安定化を図る考

えはどうか。



水道管路の耐震化工事が予定されている金井場配水場周辺



地域活性化のため 歴史的資源を活用した整備促進を



創和会 横溝 泰世

一 郷土資料館の建設と地域活性化に向けて

問 桜土手古墳展示館がはだの歴史博物館にリニューアルし、令和元年に比べ来館者が増加した。東地区の地域活性化につながる実朝公御首塚周辺整備とあわせ、波多野城址の復元と東田原中丸遺跡の出土品・民具などを展示する郷土資料館の建設に向け、東田原中丸遺跡整備活用構想に沿った計画として、具体的に進めるべきだが、どうか。

要望 我がまち秦野の郷土について、自らが歴史を知り保存とともに守り、後世に伝えていくことは私たちの責務である。また、市民は歴史や文化財を知り学ぶことで郷土愛が育まれ、愛着とともに秦野に住んでいることに誇りを持つことができる。特に東地区は自然が豊かで文化財の宝庫で、文化財や歴史的資源は新たな人を呼び、地域活性化にもつながる。その貴重な財産を活用するため、中丸広場周辺の整備計画を積極的に図りたい。

答 高収益化モデルの構築により、若い世代に選ばれる職業になると考える。基盤整備には投資が必要となるため、施設化推進は今後、関係機関と連携し研究していく。

要望 積極的に親元就農の支援をするとともに、研修時から就農後まで切れ目のない支援をしてほしい。

二 「農」の担い手育成支援について

問 後継者のいない農家の割合と、今後10年で貸し出しを希望する農地はどのくらいあるか。

答 後継者がいない割合は45%、貸し出し希望は209ヘクタール。

問 若い農業者に施設栽培への転換を促し、経営の安定化を図る考

えはどうか。

答 高収益化モデルの構築により、若い世代に選ばれる職業になると考える。基盤整備には投資が必要となるため、施設化推進は今後、関係機関と連携し研究していく。

要望 積極的に親元就農の支援をするとともに、研修時から就農後まで切れ目のない支援をしてほしい。

二 「農」の担い手育成支援について

問 後継者のいない農家の割合と、今後10年で貸し出しを希望する農地はどのくらいあるか。

答 後継者がいない割合は45%、貸し出し希望は209ヘクタール。

問 若い農業者に施設栽培への転換を促し、経営の安定化を図る考

えはどうか。

答 高収益化モデルの構築により、若い世代に選ばれる職業になると考える。基盤整備には投資が必要となるため、施設化推進は今後、関係機関と連携し研究していく。

要望 積極的に親元就農の支援をするとともに、研修時から就農後まで切れ目のない支援をしてほしい。

二 「農」の担い手育成支援について

問 後継者のいない農家の割合と、今後10年で貸し出しを希望する農地はどのくらいあるか。

答 後継者がいない割合は45%、貸し出し希望は209ヘクタール。

問 若い農業者に施設栽培への転換を促し、経営の安定化を図る考

えはどうか。

答 高収益化モデルの構築により、若い世代に選ばれる職業になると考える。基盤整備には投資が必要となるため、施設化推進は今後、関係機関と連携し研究していく。

要望 積極的に親元就農の支援をするとともに、研修時から就農後まで切れ目のない支援をしてほしい。

二 「農」の担い手育成支援について

問 後継者のいない農家の割合と、今後10年で貸し出しを希望する農地はどのくらいあるか。

答 後継者がいない割合は45%、貸し出し希望は209ヘクタール。

問 若い農業者に施設栽培への転換を促し、経営の安定化を図る考

えはどうか。

答 高収益化モデルの構築により、若い世代に選ばれる職業になると考える。基盤整備には投資が必要となるため、施設化推進は今後、関係機関と連携し研究していく。

要望 積極的に親元就農の支援をするとともに、研修時から就農後まで切れ目のない支援をしてほしい。

二 「農」の担い手育成支援について

問 後継者のいない農家の割合と、今後10年で貸し出しを希望する農地はどのくらいあるか。

答 後継者がいない割合は45%、貸し出し希望は209ヘクタール。

問 若い農業者に施設栽培への転換を促し、経営の安定化を図る考

えはどうか。

答 高収益化モデルの構築により、若い世代に選ばれる職業になると考える。基盤整備には投資が必要となるため、施設化推進は今後、関係機関と連携し研究していく。

要望 積極的に親元就農の支援をするとともに、研修時から就農後まで切れ目のない支援をしてほしい。

二 「農」の担い手育成支援について

問 後継者のいない農家の割合と、今後10年で貸し出しを希望する農地はどのくらいあるか。



特色ある地域の象徴である田原ふるさと公園周辺

議会の動向

○11月

16日(月)

- ・代表者会議
- ・議員連絡会
- ・議会全協議会

19日(木)

24日(火)

- ・議案送付
- ・代表者会議
- ・議会運営委員会

26日(木)

- ・市議会第4回定例会開会
- ・代表者会議
- ・追加議案送付

27日(金)

30日(月)

- ・追加議案送付
- ・議会運営委員会
- ・本会議(議案審議)

【傍聴者数2人】

【傍聴者数1人】

○12月

2日(水)

- ・総務常任委員会
- ・予算決算常任委員会(総務分科会)

3日(木)

- ・文教福祉常任委員会(文教福祉分科会)
- ・予算決算常任委員会

4日(金)

- ・環境都市常任委員会(環境都市分科会)
- ・予算決算常任委員会

8日(火)

9日(水)

10日(木)

- ・本会議(一般質問)
- ・本会議(一般質問)
- ・本会議(一般質問)

- ・議会運営委員会・追加議案送付
- ・追加議案送付
- ・議会運営委員会

14日(月)

15日(火)

- ・予算決算常任委員会
- ・市議会第4回定例会閉会
- ・臨時議員連絡会

- ・議会全協議会
- ・議会運営委員会
- ・議会編集委員会

- ・議会報告会検討会
- ・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第4回定例会

【傍聴者数7人】

【傍聴者数1人】

○1月

15日(金)

- ・代表者会議
- ・議員連絡会
- ・議会運営委員会

27日(水)

- ・代表者会議
- ・議会編集委員会
- ・議会報告会検討会

○2月

1日(月)

10日(水)